

## 平成29年度第1回東員町総合教育会議 議事録

- 1 開 会 平成29年4月24日 午後1時30分
- 2 閉 会 平成29年4月24日 午後2時40分
- 3 場 所 東員町総合文化センター 第一研修室
- 4 出 席 者
- |           |        |
|-----------|--------|
| 東員町長      | 水谷 俊郎  |
| 教育長       | 岡野 譲治  |
| 教育長職務代理者  | 向山 節雄  |
| 教育委員      | 伊藤 あさ子 |
| 教育委員      | 三貫納 幸  |
| 教育委員      | 木村 陽一  |
| 総務部長      | 齋藤 博重  |
| 政策課長      | 西村 隆嘉  |
| 教育委員会事務局長 | 小川 増久  |
| 教育総務課長    | 岩田 浩一  |
| 教育総務課長補佐  | 日下部 聡  |
| 教育総務課主事   | 伊藤 晋也  |
- 欠 席 者 なし
- 5 会 議 事 項 別紙のとおり

(別紙) 会議事項

1 開会の辞

事務局長：ただ今から平成29年度第1回東員町総合教育会議を開会いたします。

2 町長挨拶

町長より挨拶

3 事項

(1) 教育施策（平成29年度東員町教育基本方針）について

教育長：資料をもとに説明

事務局長：ここまでで何か御意見・御質問等はありませんか。

(特になし)

事務局長：特に無いようですので、次の事項に移ります。

(2) 小中学校適正規模適正配置基本方針（案）について

教育総務課長：資料をもとに説明

事務局長：ここまでで何か御意見・御質問等はありませんか。

町長：仮に一中を移転させた場合、跡地はどうするかというとおそらく住宅地となると思います。面積からすると100戸程の家が建つので、そうすると神田小学校が飽和している状態で新たに多数の入居があるとパンクしてしまうので、一中の問題を考えるときに神田小学校も一緒に考えないと難しくなると思います。考えられる方法は二つあり、一つは神田小学校の増築若しくは建て替えをする。二つ目は学校区を見直す。そうしないと将来対応が厳しくなると思います。もう一つ問題がありまして、神田の学童が分割しないといけなところまできているが、建てる場所がありません。全てをひっくるめて議論していかないと大変なことになるような気がしています。一中の横に神田小学校を建てて、将来的に一貫校にするという方法も考えられるかと思っています。

教育長：どちらでも通えるという共通学区を上手に作って、徐々にやっていくという方法が今のところ現実的かなと思います。

委員：かつては一中校区の人が二中へ通いたいという要望が強くあったが、

今はそういう事はなく、特に小学校ではあまり関係ないと思います。  
自治会との絡みが問題ですね。

委員：一中は改築か移築か決まっていますのですか。

町長：決まってはいませんが、現在の立地が東の方に偏っていますので、  
移築の可能性が高いかなと思います。

教育長：建築すると今後50年は動かないので、よく考えないといけない  
ですね。

教育総務課長：将来的には少子化で必ず子どもは減りますし、小中一貫校  
というのも案としてあると思います。小学校は各地区に残して欲しい  
という意見も根強くありますので、その辺りも考慮して考えていきたく  
いと思います。

事務局長：その他に御意見等ございませんでしょうか。

町長：空調を一切使わない光冷暖というのがありまして、福祉センター改  
修時にモデル的につけます。空調がないため風や音がなく、とても環  
境が良く、うつ病の人が治ったという事例もあるそうで、紹介だけさ  
せてもらいます。

#### 4 閉会

事務局長：これを持ちまして、平成29年度第1回東員町総合教育会議を  
閉会と致します。ありがとうございました。